

開講学科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス			
科目名	言語学	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		2・3年次	選択	11000501	
担当教員	原島 秀人	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期	月曜日	1時限
授業の教育目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。				
学科の学習・教育目標との関係	大学生として必要な教養と倫理観を身に付ける。				
キーワード	ことば、音声、構造、言語習得				
授業の概要	人間同士のコミュニケーションを成り立たせ、思考を形成し、共同社会の連帯感を強め、文化を伝承する機能を担う「言語」。その言語とはどのようなものであるかを科学的に探って行く。具体的には言語起源論、類型論、動物と人間の情報伝達、統語論、形態論、意味論、音声学、音韻論、記号論、脳と言語などの分野を扱う。ビデオや音声資料なども使って、意識的・客観的に「言語」を見つめる姿勢を養って行く。				
授業の計画	第1回： 導入・言語学とは何か・言語学の領域 第2回： 言語とは何か・言語の本質 第3回： 人間のコミュニケーション・動物のコミュニケーション 第4回： 世界の言語 第5回： 世界の言語2・日本語と日本人のルーツ 第6回： 文字発達の歴史 第7回： 文字発達の歴史 第8回： 音声学・音韻論 1 第9回： 音声学・音韻論 2 第10回： 音声学・音韻論 3 第11回： 統語論・文法論 1 第12回： 統語論・文法論 2 第13回： 統語論・文法論 3 第14回： 言語の変化 第15回： 心理言語学・言語と脳・言語習得論				
受講条件・関連科目	特になし。				
授業方法	言語の諸相を講義しつつ、学生の個人的な言語体験などを話してもらいながら進める。また、ビデオやCDを使った音声や映像のデモンストレーションなども行う予定である。				
テキスト・参考書	テキストは使用しない。				
成績評価	・試験 (90%) ・レポート (%) その他 宿題 (10%) 注意事項 ()				
履修上の注意	@学生はまず遅刻をせずに毎回出席すること。 @扱う内容が解らなくなりかけたら遠慮なく手を挙げて質問をするように。学生からの素朴な疑問・質問を歓迎する。				